

そのⅡ 児童館における文化財利用の活動状況に関する調査研究

<部会長> 研究第8部長 森 脇 要  
 <部会員> 研究第8部 星 美 智 子  
 研究第8部 湯 川 礼 子  
 港区立西桜児童館長 川 元 啓 一  
 北区立西ヶ原児童館長 早 乙 女 政 明  
 文京区厚生部児童課児童係長 橋 本 祐 次 郎  
 厚生省児童家庭局育成課専門官 高 城 義 太 郎  
 厚生省児童家庭局育成課 主 査 渡 辺 八 重

はじめに (目的と方法)

児童館は、地域のすべての子どもたちを対象とし、遊びを通して健康で心豊かな児童の育成を目的とする児童福祉法に基く児童厚生施設である。現在の遊びの時間と空間をうばわれた子どもたちのために、児童館の果たす役割は大きく、年々各地に増設されている。1977年の全国児童館数は公私立あわせて2,399であり、その後も急増している。児童館としての目的を果たすためには、設置数の増加は必須条件であるが、それだけで十分ではなく、どう機能していくかに児童館の使命があるといえる。

われわれ文化財部会では、児童館の有効的活動へのひとつの資料提供として、つぎのような研究をおこなった。すなわち児童館の文化財利用の活動状況の「実態調査」と「事例研究」を施行し、その結果にもとづいて、児童館文化活動発展のための考察をしたのである。

I 全国児童館長会議における調査

一 質問紙による実態調査一

1 調査対象及び方法

昭和53年9月26、27の両日、東大阪市に於いて開催された全国児童館長会議(各都道府県・指定都市の児童館長代表)に出席の51館の児童館長に質問紙を配布し記入を依頼した。

なお、他職と兼任館長も多く、具体的活動内容について詳細な記入が不能のばあいは、調査紙を持ち帰って記入し、郵送する方法をとった。

第1表に示すように都市部22館、農村部20館の回答を得た(回答率82%)。大型の児童館は役割機能が多少異なるので中・小型児童館のみを取り上げた。

調査項目は「構造規模」、「職員数」、「ボランティア」。

「特色ある行事及び活動」、「地域との関わり」、「日常の具体的活動状況」、「館に保有の文化財の種類とその利用状況」その他である。(調査用紙参照)

第1表 調査対象

	全域対象	地域対象	無記入	計
都市部	6	16		22
農村部		16	4	20

2 調査結果

(1) 屋外施設の有無

庭や運動場の屋外施設、または利用可能な隣接の屋外施設の有無は館の活動にも関わってくると思われるが、庭や運動場の付属屋外施設を持つ館は都市部13館、農村部11館、付属施設はないが隣接地に利用できる屋外施設があるところは都市部4館、農村部7館である。付属の

第2表 屋外施設の有無

	都市部22館	農村部20館
運動場	館 5 (22.7%)	館 5 (25.0%)
運動場・庭	1 (4.5)	1 (5.0)
運動場・隣接施設	1 (4.5)	3 (15.0)
庭・隣接施設	5 (22.7)	1 (5.0)
運動場・庭・隣接施設	1 (4.5)	1 (5.0)
隣接施設のみ	4 (18.4)	7 (35.0)
屋外施設無し	5 (22.7)	2 (10.0)
計	22 (100.0)	20 (100.0)

屋外施設、隣接の屋外施設のいずれもないのは都市部5か所、農村部2か所である。

(2) 屋内施設

第3表に示すように遊戯室、図書室は専用、兼用に拘らずほとんどの館に設置されている。

第3表 屋内施設

	都市部 22	農村部 20
集 会 室	15館(68.2)%	18館(90.0)%
遊 戯 室	18 (81.8)	19 (95.0)
図 書 室	20 (90.9)	19 (95.0)
育 成 室	8 (36.4)	5 (25.0)
映 写 室	1 (4.5)	3 (15.0)
工 作 室	5 (22.7)	2 (10.0)
音 楽 室	0 (0.0)	3 (15.0)
ホ ー ル	3 (13.6)	12 (60.0)
幼 児 室	3 (13.6)	6 (30.0)
展 示 室	2 (9.1)	2 (10.0)
そ の 他	0 (0.0)	5 (25.0)

(3) 職員数

今回の調査対象となった館では職員数が3~4名の館が多いが、館長を含めて全職員が僅か2名という館が都市部3館、農村部で1館あった。指導員は兼任、非常勤を含め2、3名の館が多く、指導員が1名しかない館が都市部6館、農村部2館である。指導員以外の職員が勤務していない館は都市部14、農村部13館で全体に小規模の館が多いといえる。館長は都市部では専任が多く、農村部は兼任が多い。(第4、5、6、7表)

第4表 職員数(館長を含む)

	都市部 22館	農村部 20館
2人	3館(13.6)%	1館(5.0)%
3	6 (27.3)	10 (50.0)
4	7 (31.9)	4 (20.0)
5	4 (18.2)	3 (15.0)
8		2 (10.0)
10	1 (4.5)	
15	1 (4.5)	
計	22 (100.0)	20 (100.0)

第5表 指導員人数(兼任・非常勤を含む)

	都市部 22	農村部 20
1人	6館(27.3)%	2館(10.0)%
2	9 (41.0)	13 (65.0)
3	2 (9.1)	3 (15.5)
4	3 (13.6)	1 (5.0)
5	1 (4.5)	
7		1 (5.0)
14	1 (4.5)	
計	22 (100.0)	20 (100.0)

第6表 その他の職員数(兼任・非常勤を含む)

	都市部 22	農村部 20
0人	14館(63.8)%	13館(65.0)%
1	5 (22.7)	6 (30.0)
2	1 (4.5)	
3	1 (4.5)	
4	1 (4.5)	
5		1 (5.0)
計	22 (100.0)	20 (100.0)

第7表 館長 専・兼任の別

	都市部 22	農村部 20
専 任	13館(59.1)%	6館(30.0)%
兼 任	9 (40.9)	14 (70.0)
計	22 (100.0)	20 (100.0)

(4) ボランティア

日常活動や行事に際しボランティアの協力を得ている館が多い。地域組織では母親クラブ、自治会、子ども会の母親が主で、個人では大学生、高校生、主婦、社会人がボランティアとして協力している。

第7表 ボランティアの協力

	都市部 22	農村部 20
有	14館(63.6)%	16館(80.0)%
無	8 (36.4)	4 (20.0)
計	22 (100.0)	20 (100.0)

次に館活動の中で特徴的な行事や活動とそのねらい、地域との関わり、館に保有の文化財とその利用状況等について質問した。

1) 特徴的な行事及び活動内容

季節行事についてみると、餅つき、七夕、盆おどりは子どもの興味をそそる行事であると同時に伝統行事の伝承、親子の交流や地域の人たちとの親睦、連帯感をねらいとして多くの児童館で行われている。

また子どもの日にちなんだ各種の行事も多い。子どもまつり、子ども会等は楽しい一日を過ごすだけでなく、日頃の活動の成果をしらせるよい機会とされている。文化祭、展示会も日常活動における絵画、工作、習字等の年に1回の発表の場となっている。

自然に親しむ機会の少ない都市の児童館ではいも掘、いちご狩りを行なう館もある。

大きな行事ではないがレコードコンサート、親子読書会は情操を豊かにすることを目的として実施している館が多い。

スポーツ関係では卓球大会、運動会、キャンプ、ハイキングが多くの子供館で行なわれており、体力増進や集団生活を通して自主性をのばし、地域の理解と協力を深める努力がなされている。

活動内容をみると、創造性をのばすための絵画、工作、陶芸の活動、体力づくり、仲間づくりが目的の卓球、体操、ソフトボール、柔剣道等のスポーツ、また郷土の伝説を教える郷土誌クラブが多い。母親のための卓球クラブや教養講座を通し館活動の理解を深め地域との連携を強めている。

2) 地域の協力

児童館活動をより充実させていくためには自治会や母親クラブ等の協力、地域住民の参加が得られることが望ましい。今回調査の対象となった児童館の半数以上が子ども会、盆おどり、球技会、もちつき等の各種行事に地域の協力を得ている。協力の内容は、街頭での交通安全指導の実施や館の清掃や修繕等の努力奉仕、クラブ活動の際の材料提供、物品の寄贈など、その必要に応じ地域の対応の仕方も多様である。

つぎに児童館と地域の結びつきを深めていくために特に考慮していることについてたずねてみた。

母親クラブの開催、母親クラブとの合同行事、母親クラブの指導育成など母親クラブとの連携を密にしていくことを考えている館が多く、また、学校や自治会との連携、ちらし等による館活動のPR、各種団体の行事に出席し情報聴取、園庭開放など、地域への働きかけもさまざまみられる。

3) 日常の具体的な活動状況

ここでは各館における日常活動の種類と内容、登録制・自由参加の別、対象年齢、人員、実施日数について記

入を求めた。

文化活動の中で上位5位までを挙げると、①工作(紙工作、木工作、陶芸他)都市農村合わせて42館中18館(43%)②絵画 12館(29%)③読書(読みきかせ、読書、童話会)10館(24%)④音楽(コーラス、器楽)6館(14%)⑤書道 5館(12%)となっている。その他映画、園芸、ユーモア、人形劇、料理、手芸等も行なわれている。1位から4位までに挙げられた活動は子どもの要望を取り上げてクラブを作った館が多く、子どもに人気のあるものといえる。

スポーツ関係では卓球が最も多く42館中12館(29%)で行なわれており、体操、バドミントン、柔剣道、竹馬ハイキング等の活動も実施されている。

また幼児保育を行なっているところは7館(17%)ある。

学習・補習等のクラブ、珠算のクラブを行なっているところが数館あったが児童館の役割と多少異なるのではなかろうか。

4) 児童館に保有の文化財の種類と利用状況

文化財としてどのようなものが備えつけられているか、その種類と個数、また利用の状況についてたずねた。(1)出版物、(2)映画、(3)幻灯・スライド、(4)人形劇、(5)紙芝居、(6)ペープサート、(7)楽器、(8)工作道具、(9)らくやき(10)その他に分類して記入を求めた。

出版物についてみると無記入の4館を除き全館に図書がある。第9表のように絵本と児童図書はほとんどの館に備えつけられており、百科辞典、少年少女雑誌マンガも半数の館に保有されている。

第9表 出版物

	都市部 22	農村部 20
絵 本	19館(86.4)%	18館(90.0)%
児 童 図 書	21 (95.5)	16 (80.0)
百 科 事 典	12 (54.5)	11 (55.0)
少 年 少 女 雑 誌	10 (45.5)	11 (55.0)
マ ン ガ	14 (63.6)	12 (70.0)
父 母 向	8 (36.4)	10 (50.0)
そ の 他	1 (4.5)	3 (15.5)

映画以下の文化財の保有状況は表の通りである。ペープサートの保有が少ないのは子どもが作って演じた後に家に持ち帰るためであろう。(第10, 11, 12, 13表)

児童館には種々の文化財が整備されているが、その中

第10表 映画

		都市部 22	農村部 20
有	映写機	8館(36.4)%	8館(40.0)%
	撮影機	2 (9.1)	2 (10.0)
	フィルム	3 (27.3)	4 (20.0)
	ビデオセット	1 (4.5)	
無		12 (54.5)	11 (55.0)

第11表 幻灯・スライド

		都市部 22	農村部 20
有	映写機	10館(45.5)	11館(55.0)%
	スライド	4 (31.9)	10 (50.0)
無		12 (54.5)	5 (25.0)

第12表 人形劇

		都市部 22	農村部 20
劇団をよぶ		5館(22.7)%	4館(20.0)%
職員が演ずる		4 (18.2)	4 (20.0)
子供が演ずる		3 (13.6)	5 (25.0)
無 記 入		14 (63.6)	12 (60.0)

第13表

		有	無
紙 芝 居			
都 市 部		17館(77.3)%	5館(22.7)%
農 村 部		10 (50.0)	10 (50.0)
ペープサート			
都 市 部		3 (13.6)	19 (86.4)
農 村 部		2 (10.0)	18 (90.0)
楽 器			
都 市 部		12 (54.5)	10 (45.5)
農 村 部		15 (75.0)	5 (25.0)
工 作 道 具			
都 市 部		7 (31.8)	15 (68.2)
農 村 部		7 (35.0)	13 (65.0)
らくやきかまど			
都 市 部		3 (13.6)	19 (86.4)
農 村 部		1 (5.0)	19 (95.0)

で子どもたちの利用頻度の高いものをみると1位が絵本、児童図書等の出版物である。2位は紙芝居、3位映画、続いて幻灯、楽器の順になっている。職員が映写する映画や幻灯と異なり子どもがいつでも安直に利用できる図書の利用が多いのであろう。逆に館に備えてあっても利用されないものとして天体望遠鏡、紙芝居、らくやき、幻灯、工作道具を挙げているのが各1館ずつあった。

5) 文化財に関する予算

文化財にどの程度の子算をくんでいるかをたずねたが館の規模がさまざまである上に無回答が多く全体の傾向はつかみにくい。回答のあったものをみると、図書の年間予算は最少10,000円から最も多いところが300,000円で、第14表に示すように50,000以下が36パーセントの15館でほとんど100,000以下の予算である。映画関係の子算をみると最も少ないところは年間僅か5,000円であり、無料のものを利用するところが多いようである。又、今年度は文化財関係の子算は全く無いというところが3館あった。

第14表 年間予算

図 書 予 算		映 画 関 係 予 算	
0千円	3館(7.1)%	0千円	9館(19.0)%
~50	15 (35.8)	~50	10 (23.9)
~100	7 (16.7)	~100	2 (4.8)
~150	2 (4.8)	~150	1 (2.3)
~200	3 (7.1)	~205	
~250		~250	1 (2.3)
~300	1 (2.3)		
無 記 入	11 (26.2)	無 記 入	20 (47.7)
計	42 (100.0)	計	42 (100.0)

6) 運営上特に工夫している点

児童館は地域児童の健全育成のために、限られた職員、予算の中で十分に機能を発揮して運営していかねばならないが、運営上、特に工夫している点があるか質問した。

質問の「特に工夫している」点にこだわったためか回答が少なかった。記入のあったものをみると、予算を有効に使用するために備品を他館と共同購入したり、共同で使用する工夫がみられる。また公民館、教育委員会等からのフィルム借用、図書館からの図書の団体借用など公共施設の利用も多い。その他、地域のために園庭や部屋の開放をして館の理解を深めたり、母親たちの協力を快く受け地域との結びつきを密にすることなどが考えられている。また当然のことながら職員と十分な話し合い

をして運営していくことを心がけている館もある。

7) 感想及び意見

児童館活動の中で文化活動に関する調査の結果を概観したが、季節的行事はもちつき、子どもの日、七夕、盆おどり、クリスマスなどを大きく取り上げるところが多い。これらは単に館内の行事にとどめず、親子、地域を含めた活動をねらいとして各児童館の大きな行事となっている。

日常の具体的なプログラムは館側の考えや姿勢、子どもや地域のニーズなどによって多少異っている。一般的な傾向としては今回の調査では図書室は全体の93パーセントの館に設置されており、各種の文化財の中で図書の利用度は高く図書室活動は児童館の文化活動の中で大きな比重を占めているといえよう。

専用の工作室を備えている館は都市部5館、農村部2館であり、備品としての工作用具も少ないが日常活動では工作のクラブが最も盛んで都市部、農村部合わせて42館中18館43パーセントが行なっており、中心的な活動となっているようである。工作室の設置や豊富に工作用具を備えることにより益々盛り上げていくと考えられる。

絵画も工作同様、創作的な活動で42館中30パーセント近い12の館が登録制、或いは自由参加のクラブ活動を実施している。

その他音楽、書道、また数は少ないが紙芝居、人形劇映画、手芸、生け花、料理、手芸等種々の活動が行なわれているが、舞踊関係のクラブは皆無であった。これは専門の指導者が得られにくいためではなかろうか。児童館の文化活動にとり今後の一つの課題といえよう。

クラブ活動はスペースや材料、その他の都合で対象年齢や人員の枠をきめている館が多いが、小学、中学、高校生と幅広い対象で園芸のクラブを作っている館があった。年齢層の異なる児童との触れあいは必要で、児童館のあり方として好ましいといえる。

II 文化活動を中心とした児童館事例

1) 対象

- (1) 岡山県立児童会館 (大型児童館)
- (2) 川崎市立青少年センター ( )
- (3) 鳥取市立児童会館 (中型児童館)
- (4) 御殿場市児童館 ( )
- (6) 東京都北区立西ヶ原児童館 (小型児童館)
- (6) 〃 杉並区立西荻児童館 ( )
- (7) 〃 中野区立西中野児童館 ( )
- (8) 〃 文京区立柳町児童館 ( )
- (9) 〃 港区立西桜児童館 ( )

- (0) 名古屋市立前津児童館 (小型児童館)
- (1) 神戸市立原田児童館 ( )
- (2) 北九州市立南小倉児童館 ( )

対象児童館は、大型・中型・小型の各タイプ、各地域(東京都は山手と下町)にわたって選択した。なお、今回は関東以西の地域を対象とした。

2) 調査方法

研究メンバーが対象児童館を訪問し、実地見学、面接調査および当該児童館の諸資料から文化財利用の活動状況をまとめ、最後に「感想」として、評価や意見を加える報告書をそれぞれ作製した。

3) 調査日時

1978年11月～1979年2月

一事例一

(1) 岡山県立児童会館

(岡山市伊島町3-1-2)

〔環境〕

この会館は岡山市の中心からバスで約20分、市北の郊外京山のふもとにあり、裏山に松林や空地がある。京山には動物園があり、周辺は県立の総合グラウンド、閑静な小住宅になっており恵まれた環境の中にある。

〔規模および設備〕

屋外施設:

付属施設として約1万平方メートルの広場—中央児童遊園地「太陽の丘」—がある。

屋内施設:

鉄筋コンクリート2階建、延面積1565㎡、1階に科学展示室、児童図書室、事務室、2階にプラネタリウム室、天文展示場、集会室2室、別棟に工作室兼集会室がある。

その他隣接施設として宿泊事業部の管理運営になる県内及び近接県の小中学生及び青少年指導者等の宿泊訓練所兼研修所がある。(宿泊定員250名)

〔職員数〕

館長	主任(事)	主任(技)	主事	その他の職員	計
1	1	2	3	3	10

〔ボランティア〕

不定期的ではあるが下記の人々の協力がある(11団体約30名)

団 体 名	内 容	団 体 名	内 容
人形劇場「たけのこ」	2人 人 形 劇	岡山人形劇研究会「ビヤンキ」	人 形 劇
岡山レクゲーム研究会	ゲーム レクリエーション	座 大 地	フォークソング レタリング
ロコス腹話術研究会	腹 話 術	県立短大児童文化部	人 形 劇
明るい社会づくり協議会	手づくり工作	就実短大人形劇部	
人形劇グループ「すくすく」	人 形 劇	山陽学園短大児童文化部	
中国短大人形劇部	人 形 劇		

## 1 文化財に関する行事及び活動内容

### 1) 行 事

- 子ども祭——子どもの日を記念して写生大会、人形劇、フォークダンス、まんが映画、ブラスバンド演奏、プラネタリウム観覧、子どもみこし等毎年1万人前後の児童が参加して館周辺広場を利用し盛大な行事としている。
- 七夕のつどい——プラネタリウムを使って七夕の星にまつわる伝説を伝えるとともに、七夕お供えコンテスト、プラネタリウムの七夕特集まんが映画等の行事を行なう。
- 岡山県子ども大会——県下各地域の子ども会代表が一同に会し、岡山レクゲーム研究会の協力のもとに優秀な子ども会・指導者の表彰、各種活動の発表、レクリエーション等を実施する。
- 新春こども大会——手作り凧の製作、デルタウイング、日本凧による凧あげ、竹うま、こま回し、羽根つき、おかざりどんと焼を楽しむ。
- 風の子大会——元気な子を育てるため、戸外での遊びを考え、ぐにゃぐにゃ凧の製作、風ぐるま、折紙飛行機、竹とんぼ等を作って遊ぶ。
- 人形劇まつり——日頃児童会館に協力している短大ボランティアの上級生の卒業を記念して、同校生による盛大な送別人形劇大会として児童に参観させる。
- 春休み名作映画劇場——すばらしい作品にふれさせて、情操を豊かにさせるとともに集団としての最も基礎的な社会生活修練の場を与える目的で実施する。

### 2) 特 色

この館の文化活動で最も盛んに行なわれるのが人形劇である。ボランティアの短大、その他の団体により年5～6回上演される他、これらの諸団体が地方に出かけ公民館等で上演し児童の健全育成を図っている。この他、館が力を入れて取り組んでいるものにプラネタリウムによる天文学教室があり県内外の子ども達に大いに利用されている。

## 2 館に保有の文化財

- ① 出版物——絵本、児童図書、百科事典、少年少女雑誌、マンガ等が約2500冊程度。
- ② 映画関係——映写機(16ミリ)が1台、フィルムの保有は無いが、上映の際は県立図書館及び教育委員会で所有するフィルムライブラリーから借受け実施している。
- ③ スライド映写機——1台 スライドの保有は天体関係のみで、他のものは貸し出しを受けて実施。
- ④ 人形劇——前述した団体により年に5～6回上演
- ⑤ 楽 器——ピアノ 2台
- ⑥ 工作道具——大工道具一式、小工作用具

## 3 感 想

この館はセンターとしての役割をになう大型児童館であるため直接地域との関わりはないが、児童文化団体によるボランティア・グループの育成のために、連絡協議会を組織したり研修会を行なうなどの援助協力をし、ボランティアによる地域活動がすすめていかれるように指導している。また、母親対象に児童の健全育成のための講座や児童厚生員等の研修会を開催するなどセンターとしての役割を果たしている。さらに行事に際しては県の中心的存在としての活動をおこなっている。

### (2) 川崎市青少年センター

(川崎市川崎区旭町2-1-5)

### 〔環境等〕

川崎駅から東へ、繁華街を通りぬけて、約2.5kmの住宅地に設置された大型規模の青少年向け施設で、周辺には、約1kmの所に川崎大師と大型の大師公園があり、また反対方向500mの所には大型規模の富士見公園がある。センターの隣接地は市立の旭小学校となっている。旭町は、ごく一般的な住宅地であるが、この町の北側は、多摩川にそってベルト状にのびる京浜工業地帯の一

部をなしている。

市は、人口約110万に対して、センターないし青少年会館が23、留守家庭ホール27、計50ヶ所の児童施設を有している。

市を3ブロックに分けて、その中のひとつのセンターが管理機能をもっているが、総合機能は、この川崎市青少年センターが担っている。

〔規模および設備〕

敷地120坪、建物は床面積80坪の鉄筋コンクリート、4階建てである。

1階 ○ロビー 90m<sup>2</sup> ○児童ホール（図書室兼用）98m<sup>2</sup> ○事務室 16m<sup>2</sup>

2階 ○事務室 56m<sup>2</sup>が2室あり1室は青少年相談員の控室を兼ねている。○談話室（相談室）14m<sup>2</sup>が2室、12m<sup>2</sup>が1室あり常時青少年問題の相談業務を行なっている。

3階 ○食堂兼会議室 ○和室2室（10畳、12畳）○キャビン（ベッドルーム）2段式のもの14台○浴室

4階 ○ホール 98m<sup>2</sup> ○サロン 32m<sup>2</sup> ○和室3室（6畳、8畳、12畳）

〔職員〕

所長	専門職係長	一般事務係長	専任指導員	一般事務職	用務	運転手	計
1	2	1	4	6	1	1	16

〔ボランティア〕

行事の折に、大学生などの参加がある。なお、日常的なクラブ活動の他に、多くのクラブ活動があって、それぞれに講師がつくが、内容的にみて、ボランティアの要索も感じられる。

1 文化財利用の行事及び活動

1) 日常活動の状況

児童から大人までも含むクラブ活動がさかんで、日常の一般利用よりも、グループによる施設利用に中心が置かれている観がある。

種類	登録制自由参加	対象	人員	実施日数	内容	専門指導
バトンフラワー	登	小2～6年	20人	週1日	基本動作、創作活動	有
卓球	〃	〃1～6年	20	〃	〃館内大会	〃
習字	〃	〃2～6年	50	〃	基本練習	〃
絵画	〃	〃1～6年	100	〃	テーマ及び自由活動	無
一般利用	自	小学生から高校生が主	20～30人	毎日	一般の施設利用	無

2) グループ活動

○こどものつどい

毎月1回行なわれ、子ども達でつくった紙芝居、コマ、タコなど、あそびの内容は豊富である。その他各種のゲーム会が催されている。

○児童映画

市内の映画館と提携して、よい映画を安い費用で見せるためのグループ活動を行なっている。学校の休暇中に映画館を借りきり参加者はセンターが引率していく。

○スライドの貸出し

市内のグループ活動の場に、教材または資料として貸出す。

○その他、無線ハムクラブ、生花、茶道クラブがある。

3) 特色

青少年問題でのとりくみでは、あらゆる機関と協力態勢を固めている点が強く印象づけられたほか、児童館的な活動では、地域子ども会をはじめ、各グループとのかわりが確立している。

2 館に保有の文化財

施設を利用する子ども達のもちよりで運用されることが多いこともあって、規模のわりには準備が少ない。

① 出版物——児童図書、絵本、マンガ、少年少女雑誌、百科事典など約1200冊

② 映画——映写機1台、フィルムはライブラリーから毎月1回借用、他に年間2～3回業者から借りあげて利用している。

③ 紙芝居——約20点の在庫、他に子ども達のでつくったもので実施。

④ ペーパーサート——子ども達のでつくったものも利用している。

⑤ 楽器——ピアノ1台、ギター1丁、オルガン1台

⑥ 工作道具——ほぼ一式用意している。

⑦ らくやきかまど 1台

3 感想

大型規模の施設としては、遊具類が少なく、どちらかと云えば場の提供の感じが強い。センターの機能が、一

一般的な児童館活動と社会教育活動的な面の二本立ての観  
 があり、それが地域活動の特色とも云えそうである。

### (3) 鳥取市立児童会館

(鳥取市西町2-410)

#### [環境]

鳥取市は、城下町として発展した、人口12万6千の県庁  
 所在地である。市の周囲は三方に山(丘陵)をめぐらせた  
 地形になっていて多目的の野外活動が可能と思われる。

山並みの終わる突端は鳥取砂丘で、そこには子どもの  
 園があるほか、少し離れた所には湖山池と呼ばれる湖が  
 あって、文化活動の拠点ともなっている。

市中を流れる千代川は、市街地の河川としては水清  
 く、やはり子ども達の行事に多く利用され、ここでの代  
 表的な行事には「ながじびな」がある。

#### [規模および設備]

ほとんど隣接した所に、図書館と公民館があって、館  
 には、約100m<sup>2</sup>の庭があるが、それと地続きに、約3400  
 m<sup>2</sup>の児童遊園(なかよし公園)がある。

- ホール 175.2m<sup>2</sup>
- 図書室 24.7m<sup>2</sup>
- 集会室 24.7m<sup>2</sup>
- 映写室 15.5m<sup>2</sup>
- 事務室 20m<sup>2</sup>

#### [職員]

館長1、専任指導員2、計3名である。

#### [ボランティア]

市ぐるみの地域活動を進めるうえで、このボランティ  
 アがあればこそ職員が少なくても進む背景も理解でき  
 るところで、多いときには400名ものボランティアを期待  
 できるとのことであった。鳥取大学の学生、高校生、教  
 員、PTA、ガール、ボーイスカウト、交通安全クラブ  
 ライオンズクラブ、地域子ども会、それに主婦など実に  
 多彩である。日常のクラブ活動では大学生、高校生、ガ  
 ール、ボーイスカウトが軸となり30名程度。

#### 1 文化財利用の行事及び活動

##### 1) 行事

○鳥取子どもまつり 一年に一度の市ぐるみの催しで、  
 日本第二の大きさといわれる湖山池を舞台に幅広い内  
 容がもりこまれていて、昨年の参加者は35,000人との  
 ことである。

○鯉のぼり行進 鯉のぼりは子ども達とお母さん方の共  
 同作業で日数をかけて作りあげ、郷土色豊かな伝統行  
 事にまで成長させたものである。

○民話のつどい 当地の民話は400語といわれてお  
 り各地区で定期的に行なう他に要請があればいつでも  
 行なうとのことである。

○流しびな 有名な鳥取の流しびなに館活動を並行さ  
 せたもので毎年3月3日に、千代川を舞台として実施  
 する。

##### 2) 日常活動

館そのものの利用は、ごく平凡な形にしか写らない  
 が、この館の本当の姿は、外部とともに歩いており、理  
 想的な、地域とのコンビネーション活動をそこに見るこ  
 とができた。

種 類	登録制 自由参加	対 象	人 員	実施日数	内 容	専門指導
図 工 併 用		1・2年	約20人	週 1日	絵画、工作、ねんど	有
読 書					感想などを話しあう	
作 文					作文、作詩、発表	
手 品		5・6年		月 2日	初級のもの	
ヤキモノ		3・4年			らくやぎ等	
科学の会		5・6年	250	月 1日	自然の研究ほか	
絵をかく会		1~4年			主として館外活動	
なかよし会		1・2年	200	夏休み6日	リクレーション行事	
移動会館	自	全児童	100	年、50日	リクレーション活動	
母親クラブ		母と子		月 1日	主としてリクレーション行事	
一般利用	自	全児童	50~60	毎 日	一般の施設利用	無



3) 特色

児童館は子どもたちにとって日常の遊びの拠点であることに違いないが、行事では市の全域が活動の場となっている点に特色があり新しい地域活動の一つといえる。

2 館に保有の文化財

運営上の考え方もあって、それほど準備はない。

① 出版物——児童図書、絵本、少年少女雑誌、学習的な本、が主で、1500冊程度

② 映 画——映写機はあるが、いまのところ利用していない。

③ 人形劇——劇団こうま座の拠点で、単に劇を演ずるだけでなく、職員と協力して、手品、ゲーム、子ども達への人形劇指導、歌などにとりくんでいる。

④ 楽 器——ピアノ、エレクトーンがあるがその他の楽器は、もちよりで利用される。

⑤ 工 作、絵画に関係する用具は、若干、館の準備があるが、多くはもちよりで利用される。

3 感 想

館の運営は、受け身の形での施設利用や、備えつけの文化財利用を余り重要視していない。従って、めばしい遊具類の用意も少ないが、館活動を深める上での文化財は市中にあるものが館と関連しながら機能していること、それに並行しているのがこの館の文化活動のユニークさといえる。

(4) 御殿場市児童館

(静岡県御殿場市新橋1917)

〔環 境〕

日本のシンボル富士山の緩傾斜に展開する高原状の平野に位置するのが御殿場市であり、児童館は国鉄御殿場駅から300m、東名高速道路の御殿場インターとの間にあり駅周辺の商業地域をかかえているが、館の周囲は静かである。

〔規模および設備〕

屋外施設としては約3,400m<sup>2</sup>の運動場があり、裏には児童公園もあって遊び場に恵まれている。

屋内施設は集会室(1)、遊戯室(1)、図書室(1)、映写室(1)、育成クラブ室(他室と兼用)、幼児室(他と

兼用)を持つ建坪275m<sup>2</sup>の木造平家建である。

〔職員数〕

館長(専任)	指 導 員	
	専 任	非 常 勤
1	3	2

〔ボランティア〕

御殿場児童館の特徴であるボランティアの発掘育成により定期的に協力してもらえる人は80名、不定期な協力者は300名にも及んでいる。地域の組織では子ども会や母親クラブの協力があるが、この児童館は高校生のボランティア育成に力を注いでおり、ボランティアとして登録されている高校生は250名にのぼり、大学生10名、中学生も40名が登録している。

1 文化財に関する行事及び活動

御殿場市児童館の特色はボランティアの発掘とその育成である。活動の詳細は紙数の都合で省略するが、児童館側としてボランティアのジュニアリーダーのために例年、初級、中級、上級研修会を開催しボランティアの育成と指導技術の向上をはかっている。

1) 日常の活動状況は次表のようなクラブがある。人形劇クラブはシナリオの作成から人形の製作、月1回の上演と活発な活動を行なっている。

2) その他不定期に影絵研究会、野鳥診療所、業者のボランティアに依頼してのおもちゃ診療所、親子で手もみ茶や炭焼きを見学する故郷を知る会、季節行事では写生大会、ソフトボール大会、野外造形展なども行なっている。

また日常活動とは別に、子どもの自主性、創造性の助長をねらいとして子ども会に班長制度がある。班長は班員の協力を得て子ども会の例会を開き仕事の分担を決めたり、ゲームを行なう。

2 館に保有の児童文化財

① 出版物——絵本、児童図書、少年少女雑誌を含め700冊

② 映 画——撮影機3台

③ スライド映写機2台

④ 人形劇——日常の活動状況で述べたように月1回子どもたちが製作したものを上演する。

種 類	定員制 自由参加	対 象	人 員	実施日数	内 容	専門指導
母親クラブ	定員制	母 親	(3クラブ) 100人	週 1 回	話し合い、奉仕、人形劇	有
探検クラブ	定員制	小3以上	30人	月 1 回	原生林、河川の探検	有
人形劇クラブ	定員制	小3以上	20人	月 1 回	シナリオ、人形の制作、上演	有

- ⑥ 紙芝居——50点
- ⑦ ペープサート——11組
- ⑧ 楽 器——ピアノ、オルガンは自由に使用させている。
- ⑨ らくやきかまど——1台

図書費の年間予算は20万円、映画やフィルムの費用は年間15万円程度である。

### 3 感 想

日常の館内における利用や活動はさほど特徴的なものはないが、高校生のボランティア活動のユニークさには目を奪われるものがある。

ボランティアを単なる奉仕とか人手不足の解消にとどめず、子どもたちのよき相談相手、遊びの指導者になれる若い高校生に的をしばってボランティアを発掘している。一方、就職か大学進学かの岐路にたち青年期の不安定な心理状態にある高校生を児童館がボランティアとして育成していくことはかれらの余暇の善用と非行防止にもつながっている。地域ぐるみの健全育成運動というよりも子どもを取りまくすべてのおとなたちが一体となり子どもたちのためにとり組んでいる。

## (6) 東京都北区立西ヶ原児童館

(東京都北区西ヶ原 4-44-10)

### 〔環 境〕

西ヶ原は、東京の最北端に位置する北区の中で、南部地区にあたり、文京区と豊島区に隣接した、旧滝野川区の住宅地である。

附近には、由緒ある飛鳥山公園や名主の滝公園をはじめ、大型の中央公園、古河庭園、その他いくつかの児童遊園等があるほか、隣接区の至近距離には、歴史上の人物や文豪達が眠る染井霊園があって、これらは児童館活動と深くかかわっており、各種文化活動の舞台となっている。

その他、文化活動の対象となる諸施設は、北区に限らず、首都東京ならではの、のびがあることと、荒川土手のように、延々と続く自然のあそび場があることもつけ加えておきたい。

学校の関係では、館から北と南東、約200mの位置に、滝野川第三小と西ヶ原小学校があって、この両校の児童が利用の中心で、館は小学生を主な対象とする小型規模の建物である。

〔規模および設備〕

保育園と併設で、鉄筋3階建てのうち、2階の一部と3階が児童館、設立は昭和40年11月13日で、北区19館中最初のものである。

- 遊戯室 64m<sup>2</sup> (3階)
  - 図書室 30m<sup>2</sup> (3階)
  - 工作室 35m<sup>2</sup> (2階)
  - 事務室 12m<sup>2</sup> (2階)
  - 屋上 3階屋上 100m<sup>2</sup> 2階屋上 60m<sup>2</sup> 庭がない
- こともあり利用度は高い。

### 〔職 員〕

館長1、専任指導員2、用務1、非常勤1の計5名である。

### 〔ボランティア〕

児童館OBの中学生が数名、大型行事の都度参加していること、これは当館の考え方の中に、将来、子ども達の先輩が幅広くかかわってくれるような期待があって今はその第一段階にあることと、その他では、母親たちを中心にしたりくみがある。

### 1. 文化財に関する行事及び活動

#### 1) 行 事

○合同観劇の集い——これは、毎年1回行なわれる区内全館の合同行事である。

○スポーツ交歓会——他の児童館、あるいは区内全児童館、他区の児童館、大人のグループ等と競技をおこなうスポーツ関係のもよおしである。

○ちびっ子文化交流会——将棋、囲碁、オセロ、カルタ、作品展等さまざまあるが、ねらいはスポーツ交歓会と同じである。

#### 2) 日常活動 (次表の通り)

#### 3) 特 色

当館は、野外活動やスポーツ行事に力を入れている関係で、館外の諸施設にあるものを利用することが多い。例えば、学校、公園、体育館、他の児童館等について、移動児童館の考え方に立つ文化財とのとりくみをしている。

種 類	登録制 自由参加	対 象	人 員	実施日数	内 容	専門指導
図 工	登	1~6年	30人	週 1 日	絵画、工作、ねんど	有
バトソ		1~6年	50人	〃	初歩と一般クラスのバトソプレー	
卓 球	併 用	3~6年	約 30人	〃	基本的なもの	
幼児教室	登	幼 児	25人	週 2 日	グループあそび	

また、あそびのタテワリを考えて、ちびっ子委員の制度をつくり、30名ほどの高学年児童がリーダーとなって活躍しているが、これは、地域の協力機関である運営委員会にヒントを得たもので、職員と子ども達とのパイプ役を、地域にあっては「あそびのおちこぼれ」を救う役わりも果している。また外を知るための幅広い、関係機関との情報交換があることもあげておきたい。

2 館に保有の児童文化財

- ① 出版物——児童図書、絵本、マンガ、事典等、約1500冊
- ② 映写機1、スライド映写機1、フィルムは業者からのものとライブラリー利用で、年間10回くらい上映。
- ③ 紙芝居——在庫が約70点あるが、行事の折に利用されるていどである。
- ④ ペーパーサート——職員の指導で、その都度子ども達がつくって行かない、使用後は持ち帰らせているので在庫はない。
- ⑤ 楽器類——オルガン2、ステレオ1、けん盤ハーモニカ1、ジュークボックス1、太鼓1、鉄琴1
- ⑥ 工作関係——大工道具、工作用具一式

3 感想

児童館の機能を、かつて、都市化にともなうあそび場の代替、とした理論に対し、「児童館は「地域あそび」の拠点として理解されるべきである」との考え方で運営している。したがって、児童館がどれだけ地域にかかわりをもっているか、また、日常はどれだけ館に来る子ども達と密度の濃いとくみができているかを運営の指針としている。

たくましい子ども作りを考えており、児童館はそのため存在するという事で努力しているが、その考え方をどれだけ地域に浸透させられるかが今後の課題であろう。

(6) 東京都杉並区立西荻北児童館

(東京都杉並区西荻北1-9-5)

〔環境〕

東京駅を起点として西部へ延びる中央線の荻窪駅と西荻窪駅の中間、山の手の住宅街にある児童館である。周囲の家庭は学校教育に熱心で学習塾やお稽古ごとに通わせているものが多く、児童館の利用者は幼児及び小学校低学年が主である。児童館のタイプは都市型の地域対象児童館である。

〔規模および設備〕

区内に26館あり、庭つき児童館は3館、その中の一つ

で約200m<sup>2</sup>の庭がある。屋内施設は集会室、遊戯室、2階に図書室、図工室、学童クラブ室(2)がある。

〔職員数〕

館長 (兼任)	指導員 (専任)	学童クラブ (専任)
1	3	2

〔ボランティア〕

定期的な協力が得られるのは7名で、母親クラブ、大学生、社会人、父母である。卓球クラブの指導は父親、手芸クラブの指導は母親、また近くの武蔵野美術大学生が図工クラブの指導に当たっている。

1 文化財に関する行事及び活動

1) 図工室活動

竹やダンボール等を使って自由に創造する力を養ない手先の巧緻性を育てるのが図工室活動のねらいである。クラブ活動の他に自由参加の形で月1回「工作の集い」を計画し、例えば「竹とんぼを作る集い」など、伝承的なものを題材として取り上げていくことを考慮している。

2) 図書室活動

幼児期から本の世界の楽しさを体得させ、読書する習慣を培っていくのがねらいであり、現在、毎週水曜日の2時半から3時まで幼児と小学校低学年を対象に、ボランティア2人が交替で絵本の「読み聞かせ」を行なっている。1回に2冊の本を読み聞かせる。また火曜日には小学1、2年生を対象に「おはなしクラブ」を設け、絵本の読み聞かせを行なっている。本の貸し出しは、日曜日と休館日を除き毎日1人1冊1週間の期限で貸し出しをしている。限られた予算では新しい図書を揃えることが難しいので、区立図書館での団体貸し(1か月50冊)を利用している。

3) 日常の活動状況(次表の通りである)

2 館に保有の文化財

① 出版物——図書室には絵本、児童図書、百科事典、マンガ、父母一般向き図書が備えつけてある。種々の文化財の中で一番利用率の高いのが絵本、児童図書である。

② 映画——映写機1台、フィルム20本。借り上げたフィルムを各館でまわして見せ合うようにしたり、近くの児童館で催される映画会のちらしを掲示しておく。

③ 幻灯、スライド——映写機1台

④ 人形劇——予算が少ないので近隣の児童館と協力し、年1回劇団をよび公会堂を使用して良いものを見せる企画をしている。

⑤ 紙芝居——12点の在庫がある。

⑥ ペーパーサート——3組

日常の活動状況	自由参加 定員制	対 象	人 員	実施日数	内 容	専門指導 の有無
おはなしの時間	自由参加	幼 児		週1日	絵本の読み聞かせ	有
おはなしクラブ	定員制	小1～2年	16名		絵本の読み聞かせ、自由活動	
手芸クラブ		小3～6年	12名		編物、料理、造花	
もくようクラブ		小3～4年	10名		木工、ダンボール工作	
演劇クラブ		小3～6年	15名		演劇を楽しむ	
卓球クラブ		小3～中3	18名		技術の上達と仲間関係	
幼児クラブ(2クラス)		3歳児と母親	20名づつ		自由あそび、体操	

⑦ 楽 器——カスタネット18個、トライアングル5個、タンバリン9個、木琴5個、鈴12個

### 3 感想

幼児期から読書の習慣を培わせたいとの児童館側の姿勢が子どもたちにも受け容れられ、むしろ子どもの側からおはなしクラブを作ってほしいとの希望も出てきており、文化財の利用も絵本や児童図書が高率を示している。これは地道な活動が根づいているといえる。

図工室活動においても、クラブ制と自由参加の集いを上手に組み合わせているのは子どもにとって参加しやすい形といえる。

このような活動を続けていけるのは、ボランティアに恵まれているばかりでなく、館が定期的に地域との懇談会をもつことにより住民の協力が得られ、館と地域が手を結んで子どもたちへサービスすることが可能となったのであろう。

## (7) 西中野児童館

(東京都中野区白鷺3-15-5)

〔環境〕

西武新宿線下井草駅の駅前商店街をぬけて数分のところに位置し、近隣は平屋建、二階建の個人住宅が密集している。児童遊園をはさんで北隣には新設の西中野保育園が設置されている。

〔規模および設備〕

○屋外施設：

100m<sup>2</sup>の庭がある。この他に隣接する西中野児童遊園を常時利用している。

○屋内施設：

鉄筋コンクリート造、2階建、総面積441m<sup>2</sup>

1階——遊戯室、工作室、クラブ室

2階——図書室、会議室、学童クラブ室

### 〔職員数〕

館長 (兼任)	指導員 (専任)	用務員 (専任)
1	4	1

### 〔ボランティア〕

定期的協力者4名と不定期の協力者が15名内外おり、その内訳は大学生9名、高校生3名、主婦5名、職員の知人数名となっている。

### 1 文化財に関する行事および活動

1) 行 事  
西中野児童館では、地域との結びつきをつよめるために、「地域バザール」を企画し、地域の諸団体と共催している。一方、地域での催しには児童館として積極的に参加している。地域と児童館の意志疎通のための「地域シンポジウム」も行なっている。同じ地区の他の児童館とも連携をもち、演劇コンクールを合同開催している。文化財に関する行事としては、月1回の映画会、年4回の演劇、人形劇(指導員の演ずるもの、子どもたちの演ずるもの)が主なものである。他に児童館としての大きな行事はアドベンチャークラブ(年4回)、地区の児童館同志の野球対抗試合(年2回)がある。

### 2) 日常活動(次表の通りである)

園芸クラブは土地の農業従事者の指導、人形づくりは専門の教室に学んでいる地域の母親の指導をというように、日常活動でも、地域の人材を活用して児童館を地域に根づかせようとしている。

### 2 館に保有する児童文化財

① 出版物——絵本、児童図書、百科事典、マンガ、一般向け図書を備える。年間予算10万のほか、バザール収益金、地域の母親の寄贈で補充している。

② 映写機1台、撮影機1台

③ スライド映写機1台

④ 人形劇——児童厚生員が演ずるもの、子どもたちが演ずるものがある。

日常活動	クラブ 自由参加	対象	人員	実施日数	内 容	指 導 者
工作教室	クラブ	小1～6年	40名	週1日	造型, 工作他	ボランティア
園芸クラブ	自 由	小・中学生	30名内外	〃	親子農園借用	厚生員
読書クラブ	〃	幼・小低	8名	〃	絵本よみきかせ	ボランティア
新聞クラブ	クラブ	小高・中学	8名	〃	児童館活動PR	厚生員
折紙教室	〃	母 親	8名	〃	地域活動, 造型	ボランティア
折紙教室	〃	小低学年	30名	〃	造 型	〃
アドベンチャー	〃	小高・中学	18名	月1日	集団活動, 心身育成	厚生員

⑤ 紙芝居40点

⑥ ペープサート4組

⑦ 楽 器——カスタネット50個, すず50組, タンバリン3個, トライアングル3個, オルガン3台, アコーディオン1個

エレキグループは各自楽器を持参する。

⑧ 工作道具一式

### 3 感 想

「地域に開かれた児童館」をめざして、職員が力を合せ、工夫を生みだしながら、創造的に、また精力的に活動を展開している。乳児の遊って遊ぶ空間をつくったり、新聞クラブ、エレキクラブと中高生まで、幅広い年齢層を対象としていることも特色がある。児童館の地域への定着のために、地域の行事や広報機関に積極的に参加している。

## (8) 東京都文京区立柳町児童館

(東京都文京区小石川1-3-9)

### 〔環 境〕

近くに区内屈指の商店街がある商業地域である。柳町小学校に隣接し、近くに植物園、東京大学、伝通院、後楽園スポーツセンター、後楽園庭等があり、館外活動の利用も便利である。

### 〔規模および設備〕

#### 屋外施設:

隣接地に児童遊園がある。

#### 屋内施設:

鉄筋3階建て幼稚園と併設の3階部分を使用、454m<sup>2</sup>

○遊戯室 112m<sup>2</sup> ○図書室 42m<sup>2</sup> ○工作室 33m<sup>2</sup>

○育成室 40m<sup>2</sup> ○屋上プレイヤード 210m<sup>2</sup>

○事務室 15m<sup>2</sup>

### 〔職員数〕

指 導 員	用 務 員	計
4	1	5

文京区は各館に館長をおかず、区役所厚生部児童課児童係が管理運営に当たっている。

### 〔ボランティア〕

定期的な協力者はないが、育成室の父母会38名が学童クラブの行事の際には協力する。

#### 1 文化財に関する行事及び活動

##### 1) 行 事

凧上げ大会——竹削り、糸かけ、紙はり等、各児童が手作りした凧を毎年2月に9館合同で凧上げ大会を行なう。

その他、餅つき、羽根つき、豆まき、雑祭り、七夕、お化け大会、お月見等の季節的行事に積極的に取り組んでいる。

##### 2) 日常活動

次の表の他にサマーグループと称してグループを編成し、タイルモザイク、革工作、縫いぐるみ、コリントゲーム等、課題をきめて共同製作を実施している。

##### 3) 特 色

この館は創作活動に力を入れており、年間計画を立て、例えば4月は「わりばしグライダー」、5月は「ペーパーフラワー」と「ビュンビュンごま」、6月は「コリントゲーム」など手づくり玩具の作成を行なっている。

#### 2 館に保有の文化財

① 出版物——絵本、児童図書、図鑑辞典、まんが等1800冊

② 映 画——映写機・スライド映写機各1台、フィルムは映画会社、図書館のものを利用。

③ 楽 器——オルガン3台、カスタネット・タンバリン多数

日常活動	クラブ 自由参加	対象	人員	実施日	内 容	専門指導
①絵の具の日	自由	幼児、母親	25人	1・3金曜	親の顔、家の様子等、主題をきめて画く	無
②手芸の日	〃	3年以上	15人	2・4土曜	針と糸を使って編物入れ作り	〃
③工作の日	〃	1年以上	平均40人	月のうち 5～7日間	船、自動車、ライダー等	〃
④図書室活動	〃	幼児以上	15人	週1回	読み聞かせの実施	〃
⑤紙芝居	〃	〃	20人	〃	孫悟空等、興味あるもの	〃
⑥卓球教室	〃	1年以上	8人	〃	ラケットの持ち方、球の打ち方、ルール等について	有
⑦卓球試合	〃	〃	8人	〃	教室で習得した成果をあらわす	無
⑧幼児のつどい	〃	幼児と母親	30人	毎週木曜 11～12時	歌遊び、体操、遠足、クリスマス会、運動会	〃

④ 人形劇——劇団上演年3回、その他子ども、職員が演ずる。

⑤ 紙芝居——毎月15本程度図書館から借受。

⑥ 工作——大工道具、工作道具

⑦ らくやき——陶芸かまど

その他、絵画道具、ゲーム、ステレオ、レコードプレイヤー、テレビや運動具など、かなり準備されている。

### 3 感想

文京区は館長が配置されていないので、区役所の児童係が管理運営に当たっている。しかし、日常の行事や活動等の具体的推進は職員の共同思考と合意で実施されており、職員に企画や指導面がゆだねられている。

## (9) 東京都港区立西桜児童館

(東京都港区虎の門1-21-9)

### 〔環境〕

港区内10館の地区児童館の中で最も規模が小さく、総面積400平方メートルである。館の周辺は大部分が会社の事務所で、高層ビルに囲まれた環境の中にあり一般住宅はこれら事務所に働く人びとを対象にした食料品、衣料品、文房具の販売業が大部分である。従って、遊び場としての空間は児童館に隣接した小公園以外は全くないといった地域である。

### 〔規模および設備〕

#### 屋外施設：

隣接する小公園 約800m<sup>2</sup>

#### 屋内施設：

- 集会室兼遊戯室 120m<sup>2</sup>
- 図書室 40m<sup>2</sup>
- 工作室 60m<sup>2</sup>
- 青年館の所管になるスポーツホール 380m<sup>2</sup>

### 〔職員数〕

館長	指導員	用務員	計
1(兼務)	3	1	5

その他の専任講師3名(週1回のグループ活動講師)

### 〔ボランティア〕

(1) 定期的(毎週水曜日の午後)1名

(2) 不定期的協力(大きい行事、例えば児童館祭)10余名、地域の母親。

### 1 文化財に関する行事及び活動

#### 1) 行事

○児童館まつり——児童館が開館した日を記念して、地域ぐるみで、児童を中心に隣接する公園で多くの模擬店を出し、店員は大部分が児童でそれぞれ好みの物を売る。又、お母さん方も一つ二つの店を出し、地域全体で楽しい縁日として開催。

○お化け屋敷——古来から夏の行事として子供たちに親しまれているお化けの話を、いろいろと工夫をこらし、高学年児童と指導員が協力し合って狭い部屋に装置を施し、午前中は幼児を中心に、午後は小学生を対象として、一日中、館内がお化けで一杯となる楽しく恐ろしい1日となる。

○おもちつき——日本古来の伝統的行事の一つであるこの餅つきも、最近では方々で行なわれるようになったので、それ程珍しい事ではないが、それでも約200人程の子供や大人の参加があり、地域的には児童館祭に次ぐ人気のある行事となっている。

#### 2) 日常の活動

○幼児映画会及び母親映画会——区内全児童館では毎月子供映画会を上映(午後)、午前中は幼児又は母親を対象にした映画を上映している。

○楽やき会——お母さん方を対象に年1回から3回実施

○ 日常のクラブ活動

創作グループ	定員なし	週 1 回
人形劇グループ	定員12名	週 1 回
とぼしんぼグループ	定員なし	週 1 回

3) 特色

行事やクラブ活動は異年齢集団の仲間づくりと創造力の育成助長をはかることを目的としてとりくんでいる。

2 館に保有の文化財

① 図書——蔵書数 1500 冊程 幼児向け絵本から児童図書、母親向けの料理、趣味の本に至るまで、各階層の要望に応じられるように考慮し購入してある。

② 映画関係——16ミリ映写機 1 台、スライド映写機 1 台、ただしフィルムは総て借上げ、予算約20万円 (54 年度)。

③ 楽器——ピアノ 1 台、ステレオ 1 台、大ダイコ

④ 大工道具——ノコギリ、ノミ、カンナ、カナヅチ、電動糸ノコ、その他小道具、総て10余人分が揃えてある。

⑤ 楽焼釜 1 基

⑥ その他——人形劇舞台、影絵(自作のもの)、レコード、ラジオカセット等。

3 感想

周辺は高層ビルの建ち並ぶオフィス街であるため、館は子ども達にとって安心して遊べる場、遊びの拠点となっている。また館を利用する家庭は変貌はげしいビル街の中にあってこの土地に長く住んでいる人びとであるため、地域の結びつきがたよよく、行事等に際して積極的な協力が得られる。

(10) 名古屋市立前津児童館

(名古屋市中区大須 4-15-15)

〔環境〕

商業地域。周辺は学校、会社等のビルがある。近くに須観音商店街がある。

〔規模および設備〕

屋外施設:

庭、運動場がなく、隣接地にも児童遊園、公園など利用できるものはない。

屋内施設:

構造は鉄筋コンクリート4階建のうち、1・2階が前津福祉会館(老人施設) 3・4階が児童館(549.10m<sup>2</sup>)となっている。

3階児童館…クラブ室2、図書室、遊戯室、指導員室倉庫。4階児童館…ホール、会議室、倉庫、ロビー。

〔職員数〕

館長 (兼任)	指導員 (専任)	その他の職員 (パート)	学童保育 (パート)
1	1	1	2

〔ボランティア〕

年に2回程度行事の際に10名乃至30名の大学生の協力がある。

1 文化財に関する行事及び活動

1) 行事

子どもの日、クリスマス、いも掘り大会、卓球大会、ゲーム大会等を行なう。

2) 日常の活動

(1) 大正琴——当館の特色であり開始してから3年を経過している。現在20台の琴があり20人の児童が練習に励んでいる。

(2) 人形劇——子どもたちが人形を作り演じている。そのための予算化をしたところである。

3) 特色

当地は大正琴の発祥の地であり、現在も楽器製造業者が多い。また有名な大正琴の奏者が出たところから地域の特性を活かし、伝統ある無形文化財の保存のために児童館が取り組んでいる。

2 館に保有の文化財

① 出版物——絵本、児童図書、マンガ

② 映画——映写機 1 台

③ 幻灯、スライド——100 本、映写機 1 台

④ 紙芝居——30 点

⑤ 楽器——ピアノ 1 台、アコーディオン 1 台、大正琴 20 台、ギター 1 台、タンバリン。

種 類	登録制	対 象	人 員	実施日数	内 容	備 考
大 正 琴	ク	小 学 生	20人	随 時	琴 の 練 習	
卓 球 ク ラ ブ	ク	母 親	10~20人	毎 月 2 回	卓 球 練 習	
絵 画 教 室	ク	小 学 生	20人	午前中 月 2 回	絵 画	半年終了、特別指導員

⑥ その他——ママごとセット、ブロック、ゲーム類、カラーテレビ1台

映画類については、社会教育課から借用する。またテレビ会社（東海テレビ）の協力により、マンガは無料で貸し出しを受けている。

### 3 感想

この館は商業地域にあり、学校や会社のビルが多く、近くに幼稚園がある関係上、午前中の利用者がない。幼児のための企画をしたことがあるが参加者が全くなかったこともある。一般に地域住民は児童館に対しての関心が薄いようである。そのために卓球クラブを週2回実施して地域への開放をはかり館に対する理解を深めていくようにしている。

#### (1) 神戸市立原田児童館

(兵庫県神戸市灘区王子町2-3-1)

#### 〔環境〕

住宅地域6割、商業地域4割の地区で、小学校4校、中学校1校を管内に擁している。

#### 〔規模および設備〕

##### 屋外施設：

隣接地というより玄関前に児童遊園があり、さらに周辺的环境は、一大運動公園地を形成している文京地区である。運動場、体育館、図書館、動物園等々があり、広大な敷地の一角に同館がある格好である。

##### 屋内施設：

鉄骨2階建、単独施設で建物面積 264.26㎡  
1階…遊戯室(66.55㎡)、事務室(21.90㎡)等の計 147.13㎡。  
2階…図書室兼学習室(66.55㎡)、会議室(21.90㎡)、和室(31.13㎡)等の計 147.13㎡。

#### 〔職員構成〕

館長 (専任)	指導員 (専任)	学童保育 (パート)	用務員 (パート)
1	1	1	1

#### 〔ボランティア〕

夏休みにアルバイトを1人20日間雇用する。人形劇の際に大学生が上演する他、定期的なボランティアはない。

#### 1 文化財に関する行事及び活動

##### 1) 行事

季節行事として節分、節句、七夕、クリスマス等実施している。他に笹舟遊び、小豆拾いゲーム等も行なっている。すべての行事を通じ特色的なことは子どもの手作り活動を主体にしており、落葉の季節には落葉拾いをし

芸術的作品を作ったり、水鉄砲、ひな人形、短冊も手作りしている。

#### 2) 日常の活動内容

種 類	登録制	対 象	人 員	実施日	内 容
卓球クラブ	ク	小学生	6人	常時	卓球練習
竹馬クラブ	ク	小学生	30人	毎日	竹馬でサッカー

登録制は上記の2つであるが、その他に紙芝居を子どもたちにより自作自演したり、創作活動の一例として年賀状作りも行なっている。

#### 3) 特色

文化財とは少し趣を異にするが、竹馬サッカーはこの館独自のものであり活発な活動を行なっている。

#### 2 館に保有の文化財

① 図書出版物——児童図書、百科辞典、少年少女雑誌、マンガ等。

② 幻灯、スライド——映写機1台、幻灯10本

③ 紙芝居——10本

④ 楽 器——オルガン1台

⑤ その他——竹馬30台、ボーリング器具10個、ブロック、ゲーム類各種

#### 3) 感想

児童館は子どもたちの解放の場、遊びの拠り所であるという館長の考えから学校の延長となるようなものは避ける方針で、竹馬サッカーや子ども自身に創造の喜びを与え、創作意欲の開発、器用さの助長をはかる手作りの創作活動、に力を注いでいる。

また家庭で購入されないマンガやゲームの購入に対しては工夫を払うが、名作童話や学習的な図書類は学校の図書室や図書館を利用することを望んでいる。

午前中は母親たちに音楽の練習に開放したり、夜間、地域の人に会議室を開放している。夜間の場合職員は残業せず借用者が責任をもって施設する。これは子どもを通して館と地域の相互の信頼関係ができてから可能なのであろう。

#### (12) 北九州市立南小倉児童館

(北九州市小倉北区新高田1-10-2)

#### 〔環境〕

鉄鋼の町北九州市は人口約120万、縁と住宅、町工場と大工場の混在する名状し難い大きな工場の街、その街全体が活気に満ち、そこに生活する人びとは他の都市では感じられない生き生きとした雰囲気を感じさせる。南



小倉児童館は典型的な地域対象児童館であり、また、この館の特徴は管内に同和地区を擁していることである。館の近くにはまだ田んぼや小川があり、2階建の小住宅が大部分で日中は静かで車の騒音など感じられないといった環境である。

地域の人たちは殆んどが低賃金労働者で、大部分が共働らきをしている。この状況からみても児童館の存在価値がいかに高いか、また館運営がいかに難しいかを考えさせられる。

〔規模および設備〕

屋外施設：

市立児童公園 約3300平方メートル

屋内施設：

- 集会室兼遊戯室兼映写室兼工作室 1室  
広さ約90平方メートル
- 学童保育室 1室（兼図書室）
- 事務室 1室 管理人室

〔職員数〕

館長 1名（非常勤）

児童厚生員 2名（女）

〔ボランティア〕

不定期的に2～3人の協力がある。

地域組織として母親クラブの人達が25名程、組織的に協力している。

その他、児童館OBの高校生、中学生が教人、特に大きな行事には必ず協力している。

1. 文化財に関する行事及び活動

1) 行事

① 切絵による民話紙芝居づくり

先ず町の古老や社寺等に向いて正確な民話を作り上げ、その物語を絵にする。原画を複写して子ども達に渡す。指導員と子どもが役割分担をきめ、互いに協力し合っ一つ一つの物を完成する。非常に手数と時間を要する作業で一本の切絵紙芝居を完成するのに約半年を要することである。

② 凧あげ大会

丸竹から竹ひごを作ることから始め、それぞれ苦心して作った凧をあげて出来上りの美しさ、どれだけよく揚ったかを競い、その審査には子どもが当る。

③ 營火の集い

夏休みの一日、地域の母親の協力で手づくりのライスカレーなど食べながら、キャンプファイヤーを囲みゲームやフォークダンス、のど自慢大会等で楽しむ。

その他、初日の出迎春登山会、お化け大会、敬老の日のお年寄との共同作業なども行なっている。

2) 日常の活動

切絵クラブ	登録制	15人	週1回
卓球クラブ	〃	10人	〃

3) 特色

この館の特徴的な文化財活動は切絵紙芝居であり、この土地の民話を正しく伝承していく上でも非常に有意義なことである。また北九州市では市内の全児童館が参加するキャンプ大会、卓球大会、児童文化祭、ハイキングの四大行事がある。この取組み方はユニークであり、仲間づくりの面からも望ましいことといえる。

2. 館に保有の文化財

- ① 出版物——絵本、児童図書、マンガ等約700冊
- ② スライド映写機——1台
- ③ 人形劇——年2回子どもが演ずる。
- ④ 紙芝居——在庫90点
- ⑤ ペーパーサート——15組

3 感想

この館は地域に同和地区を擁する難しさを卓球、切絵クラブによって克服し、職員数は最少限の2名という悪条件にも拘らず30名の学童保育も行ない、予算面の不足を補うために親戚知人を頼っての材料集めをするなど、子どもへの愛情と奉仕の精神、並々ならぬ努力に感嘆させられた。

IV 考 察

今回、児童館における文化活動について、全国児童館（都道府県・指定都市各1代表）実態調査と、各地児童館12館の事例研究をおこない、その実態と問題をうきざりにすることができた。

(1) 文化財利用の活動を中心に調査をしたが、現実には他の活動と混然としており、文化財利用の活動のみとりだすことは困難であった。たとえば、竹馬やコマを製作する過程は文化財利用活動であり、実際に子どもたちがあそぶ過程はスポーツ活動ともいえる。また絵や習字のクラブが文化活動であると同時に学習的活動とみることできる。多くの活動が交錯しているのは、子どもの遊びの本質を考えれば当然であるし、子どもの遊びを發展させることを目標としている児童館活動としてもまた当然のことといえる。

(2) 活動内容を見ると、行事では新春子ども大会（凧あげ、カルタなど）、ひな祭り、子どもの日の子どもまつり、七夕、キャンプ、盆踊り、納涼大会、クリスマスもちつき大会と季節行事が多くみられた。秋期は運動会などのスポーツ中心のものと文化の日になんだ文化ま

つりに二分される。ミニ行事としては、月1回の映画会の催しが多くの児童館にみられる。各児童館ともに類似の行事が多いが、地域の特性を生かした「流しびな」「炭やき」「手もみ茶」などに関するものもある。

日常活動では、絵画教室、工作クラブ、読書指導、人形劇などがもっとも多くなされている。おなじクラブ活動でも、それぞれ独自の創意ある活動がみられる。これは事例研究の児童館例をみても明らかである。たとえば、伝統芸能を生かした「大正琴」クラブ、地域の正統民話を伝える「民話クラブ」、地域民話をシナリオどじでつくる「民話切絵紙芝居」のように、地域文化伝承の活動をおこなっている児童館もある。また、地域の人形劇団、大学児童文化部、文化研究団体と合同して人形劇活動を展開している館もあった。

しかし、全国的にみれば、行政指導の枠をこえられずに慣例的になされている児童館の多いことがうかがえた。

(8) 文化活動設備についてみると、図書室がもっとも多くて約95%、つぎに遊戯室(90%)、集会室(80%)、ホール(40%)となっている。この他、育成室(30%)、工作室(16%)、映写室(10%)、展示室(10%)、音楽室(8%)が主なものである。

これで見ると、図書室は殆んどどの児童館が備えている。工作室、展示室をのぞいてはひとつの部屋を多目的に使用している館が多い。

文化財保有状況を見ると、全館にあるのは図書である。絵本と児童図書が備えられ、百科事典、少年少女雑誌、マンガはそれぞれ半数の館に備えられている。マンガや雑誌は、学校や家庭で禁止されているので、子どもの要望もあり意図的に児童館で購入しているようである。図書の他には、紙芝居、映画、幻灯、楽器が上位を占めている。利用度の高いものは図書が一位である。逆に利用されないものは、天体望遠鏡、紙芝居、らくやき、幻灯、工作道具がそれぞれ一館づつあげられ、全体としての傾向はつかめない。ということは、児童館指導員の興味や能力、子どもたちのニーズによって利用する文化財が異なるといえる。図書のばあいは、指導員の指導がなくても、また、個人で手軽に利用できることから利用度が高いと考えられる。

館に直接保有していないで、地域住民の資材(もちつきの日や杵)、地域の公的資源(フィルムライブラリー、図書館の図書)を利用したり、近隣の児童館と共有したり、乏しい予算を補って活動を拡大しているところも多い。これは、文化財を豊富に利用できるだけでなく、地域との結びつきを強くし、児童館の存在を地域に浸透さ

せていくうえでも意義のあることといえよう。

(4) 児童館事例をみると、児童館の文化活動にとどまらず、地域の文化活動の拠点として活動を推進している館がいくつかみられた。しかし、質問紙対象の児童館を含めて全般には、意図していても実現までいたっていない館が数多いといえる。

(5) 児童館職員は、他の職と兼任の館長多く、実際に活動にあたるものは1~2名のところが多い。活動事例にみられるように、1~2名の指導員の活動とは考えられないような、多角的に広範囲な文化活動を展開している児童館がある。児童館の職員構成が僅少であるだけに、児童館活動はその個々の職員の資質によって左右されることが大であるといえよう。

〔児童館文化活動への提言〕

(1) 子どもの自主的活動を育てる

児童館は、学校と家庭との間に存在する子どもの生活をゆたかにしていく機能をもっている。家庭でも勉強を強いられる現在では、児童館での生活は子どもが自由に安全に遊べる貴重な時間であり、貴重な場所であるといえる。おとなの強制や管理をはなれ、自発的に活動するなかで、子どもの自主性は育てられる。児童館において、禁止事項が多かったり、あるいは指導過多であったり、その本質的な児童の活動を抑制してしまう。児童がのびのびと心を広げて活動し、ゆたかな人間性をつくりあげていくような指導がのぞまれる。

さらに積極的には、児童の自主性を育てるための自治活動を組織していくことであろう。児童館の諸活動に児童の意見を反映させる機会をつくる、あるいは児童が主体的に活動できるよう児童の実行委員をおくことなどである。このような自治活動は、児童の自主性を育てるばかりでなく、とかく地域から疎外されがちな小学高学年児童や中学生を児童館に魅きつける役割も果たし、かれらの余暇活動を健全なものにするにもつながっていく。

また、児童の自治活動は、異年齢集団の形成としても意義をもっている。現代の子どもたちは、学校集団は当然のことながら、幼稚園などの集団生活が早められ、フォーマルな同年齢集団経験を多くもつが、一方、遊び時間、遊び空間をうばわれ、かつての「ガキ大将」文化を知らない。児童のさまざまな遊びは、このインフォーマルな異年齢集団のなかで伝承されてきたのである。そしてまた、異年齢集団のなかで、年長の子は年下の子の面倒をみることで、年下の子は年長の子に従うことを経験し、子どもたちは、このミニ社会を通して秩序や協力を学んでいくことができる。兄弟数の少ない現在の子ども

たちにとっては、異年齢集団の経験はどくに大切になってきている。

(2) 地域のセンターとしての文化活動

児童館の文化活動は、地域に根づいたものでなければその特長を生かすことができない。今回の調査でも、地域独自の文化財利用の活動（大正琴のクラブ、地域民話の発掘・再現など）が児童館活動を生き生きとさせていることがうかがえた。しかし、地域独自の文化活動は、伝承文化にとどまるものではない。地域の特殊性、地域の児童のニーズに応じた活動もまた、地域に根ざす活動である。地域の特殊性やニーズを把握した、各児童館独自のユニークな活動がのぞまれる。

児童館活動を地域に根づかせていくためには、まず、児童館を地域に開く活動が大切である。クラブ活動で特定の対象に限ってしまうと、活動は閉ざされがちになる。しかしながら、クラブ活動は、不特定多数対象の児童館活動を散逸なものにしない魅力をもっている。クラブ活動を流動的に進めていくことを考えるべきであろう。

地域への浸透でもっとも欠けているのは、いわゆるPRである。本報告のなかにもみられたが、児童館に隣接している住民が、児童館を「学童保育」あるいは「幼児

保育」の場と思いこんでいたりする。これでは地域のセンターとしての活動はのぞめない。町内会ははじめ地域組織との共同行事、学校・幼稚園・保育所への行事案内などを積極的におこなう必要がある。児童館が地域ぐるみの文化活動の拠点となっはじめて、児童の全面的な健全育成が達せられる。

(3) 文化活動を発展させるために

現在の児童館の職員数や資金の枠内では活動の限りがある。ボランティアの発掘と育成、社会資源の利用などを通して活動を拡大させていくことが必須である。社会資源は、公的施設、地域住民や地域組織が保有している文化財を活用することであるが、さらに、地域の文化人や特殊技能をもつ人材——無形の文化財の活用も考えられてよいと思う。

また、他の児童館との交流によって、単一児童館活動を超えた活動に展開していくことが可能になる。近隣の児童館同志の研究会、連絡会を密にし、活動内容を高めていくことも必要であろう。さらに、他館との情報交換（行事や映画などの催しのポスターを掲示しあう）、対抗試合、コンクールなど、児童たちの交流を企画して、活動を拡大させていくことがのぞまれる。

〔調査用紙〕

児童館の文化財利用を中心とした活動について

御手数と存じますが、下記の事項について該当する項目に○印を、また空欄には質問事項につき御記入下さいますようお願いいたします。

児童館長 氏名 \_\_\_\_\_

所在地 \_\_\_\_\_ 都道府県 \_\_\_\_\_ 郡・市 \_\_\_\_\_ 町・区・村 \_\_\_\_\_

環 境

- (1)住宅地域 (2)商業地域 (3)工業地域 (4)農・山・漁村 (5)その他 ( )

児童館タイプ

- a. (1)都市型 (2)農村型  
b. (1)センター児童館 (2)市(区)町村全域対象児童館 (3)地域児童館

屋外施設

- a. (1)屋外運動場がある(約 m<sup>2</sup>) (2)庭がある( m<sup>2</sup>) (3)なし  
b. 隣接地に児童遊園、公園など利用できる屋外施設 (1)ある (2)なし

屋内施設

- (1)集会室( )室数 (2)遊戯室( )室 (3)図書室( )室 (4)育成・クラブ室( )室  
(5)映写室( ) (6)工作室( ) (7)音楽室( ) (8)ホール( )  
(9)幼児室( ) (10)展示室( ) (11)屋上遊戯室( ) (12)その他( )

職員数 \_\_\_\_\_ 名

- a. 館長 (1)専任 (2)兼任  
b. 指導員 (1)専任 \_\_\_\_\_ 名(男 \_\_\_\_\_ 女 \_\_\_\_\_)  
(2)兼任 \_\_\_\_\_ 名(男 \_\_\_\_\_ 女 \_\_\_\_\_)  
(3)非常勤 \_\_\_\_\_ 名(男 \_\_\_\_\_ 女 \_\_\_\_\_)  
c. その他の職員(1)専任 \_\_\_\_\_ 名  
(2)兼任 \_\_\_\_\_ 名  
(3)非常勤 \_\_\_\_\_ 名

森脇他：児童文化財に関する研究

ボランティア

- a. (1)定期的な協力\_\_\_\_名 (2)不定期的協力\_\_\_\_名 (3)なし
- b. (1)地域組織の人 (2)その他
- ①自治会(町会)約\_\_\_\_名 ①大学生\_\_\_\_名  
 ②子ども会母親\_\_\_\_名 ②高校生\_\_\_\_名  
 ③母親クラブ\_\_\_\_名 ③主婦\_\_\_\_名  
 ④V. Y. S. \_\_\_\_名 ④その他( )\_\_\_\_名  
 ⑤その他( )\_\_\_\_名

I 貴児童館の行事、または活動内容の中で、特徴的なもの、そのねらいを具体的にあげて下さい。

a. 行事

- (1) \_\_\_\_\_ ねらい \_\_\_\_\_  
 (2) \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

b. 活動内容

- (1) \_\_\_\_\_ ねらい \_\_\_\_\_  
 (2) \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

II 行事などで地域の協力を得られたものがありますか。 (1)ある (2)なし

(1)のばあい、具体的にかいてください。

III その他、地域との結びつきを深めるうえで、とくに考えていることがありましたら記入してください。

IV 日常の具体的活動状況

日常活動	クラブ 自由参加	対 象	人 員	実施日数	内 容	専門指導
(記入例) 図工	⑦ 自	小学1・2年	20人	1月・週1日	絵画・造型・ねんど・工作	⑥。無
①	ク 自			月・週 日		有 無
②	ク 自			月・週 日		有 無
③	ク 自			月・週 日		有 無
④	ク 自			月・週 日		有 無
⑤	ク 自			月・週 日		有 無
⑥	ク 自			月・週 日		有 無
⑦	ク 自			月・週 日		有 無
⑧	ク 自			月・週 日		有 無
⑨	ク 自			月・週 日		有 無
⑩	ク 自			月・週 日		有 無
⑪	ク 自			月・週 日		有 無
⑫	ク 自			月・週 日		有 無

V クラブ活動をつくった契機は何ですか。【IVの日常活動①②…の番号で記入】

- 1) 子どもたちの要望 \_\_\_\_\_  
 2) 母親たちの要望 \_\_\_\_\_  
 3) 職員の見解 \_\_\_\_\_  
 4) その他( ) \_\_\_\_\_

VI 日常活動とは別にクラブ（またはグループ）活動はどのようなものをおこなっていますか。

- 1) \_\_\_\_\_ ねらい \_\_\_\_\_  
 2) \_\_\_\_\_  
 3) \_\_\_\_\_

VII 児童文化財としてどんなものがありますか。

- (1) 出版物 ①絵本 ②児童図書 ③百科事典 ④少年少女雑誌  
 ⑤マンガ ⑥父母一般向図書 ⑦その他( )
- (2) 映画 ①映写機 \_\_\_\_\_ 台 ②撮影機 \_\_\_\_\_ 台  
 ②フィルムライブラリー（興行用劇フィルム \_\_\_\_\_ 本、教育映画 \_\_\_\_\_ 本、娯楽映画 \_\_\_\_\_ 本、  
 その他 \_\_\_\_\_ 本）
- (3) 幻灯・スライド ①映写機 \_\_\_\_\_ 台、②幻灯・スライド在庫（娯楽 \_\_\_\_\_ 本、教育 \_\_\_\_\_ 本、社会教育 \_\_\_\_\_ 本）
- (4) 人形劇 ①劇団をよぶ ②職員たちで演ずる ③子どもたちに演じさせる  
 (年、月 \_\_\_\_\_ 回) ( \_\_\_\_\_ 年月週 \_\_\_\_\_ 日) ( \_\_\_\_\_ 年月週 \_\_\_\_\_ 日)
- (5) 紙芝居、在庫 \_\_\_\_\_ 点
- (6) ペープサート、在庫 \_\_\_\_\_ 組
- (7) 楽器 ① \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 個) ② \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 個) ③ \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 個)  
 ④ \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 個) ⑤ \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 個) ⑥ \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 個)
- (8) 工作道具
- (9) らくやき かまど ( \_\_\_\_\_ ) 台 \_\_\_\_\_
- (10) その他 \_\_\_\_\_

VIII 児童文化財の利用について

a. よく利用されているものを頻度の多い順にあげてください。

- 1) \_\_\_\_\_ 2) \_\_\_\_\_ 3) \_\_\_\_\_ 4) \_\_\_\_\_ 5) \_\_\_\_\_

b. まったく利用されていないものは何ですか。 1) \_\_\_\_\_ 2) \_\_\_\_\_ 3) \_\_\_\_\_

IX 児童文化財の予算

- a. 図書年間予算 全体の \_\_\_\_\_ % \_\_\_\_\_ 千円、他施設利用 ①業者 ②図書館 ③公共施設  
 ④その他 ( )
- b. 映画フィルム予算 全体の \_\_\_\_\_ % \_\_\_\_\_ 千円、 ①業者 ②図書館 ③公共施設  
 ④その他 ( )
- c. その他年間予算 全体の \_\_\_\_\_ % \_\_\_\_\_ 千円

X 運営上とくに工夫していることがありますか、（共同購入、共同使用、ブロックへの働きかけなど）具体的に記入して下さい。